

BIG BEN

- p1 シティーのパブ巡り
- p2 写真探訪：ロンドンのカナル
- p3 領事だより：在外選挙人登録
- p4-5 短信：日本人社会の動き
- p6 北診療所サービスの拡充
- p7 エッセー：コミュニケーション事始め
- p7 日本人学校帰国の先生
- p8 クラブサロン・同好会案内

会員サービス委員会主催

シティーの歴史パブツアー

◆さすがにイギリス-歴史豊かなパブ

会員サービス委員会主催のシティーにある歴史的パブを巡るパブツアーが1月13日（水）と20日（水）の2回（1回参加者20名）行われた。応募者多数のため2回の開催となったが、それでも抽選漏れになった人が出るほどの人気だった。ガイドを務めてくれたのはシティー公認ガイドの坂次健司さん。昨年9月の日本クラブ周辺の歴史散策ツアーでお馴染みのガイドさんだ。

当日（13日）は午後6時にバンク駅前の旧ロイヤル・エクスチェンジ入口に集合、今はレストランになっている同建物を通り抜けて最初のパブ①The Counting Houseへ。歴史保存物に指定されている元銀行の会計部だったところを1995年にパブに改造したものだ。内部の歴史的インテリアに目を見張らされて次のパブ②The Cross Keysへ。元コーチング・イン（馬車の出発点と旅籠）だった建物を銀行に改造した。その後銀行が移転した後をパブにしたものだ。

この辺には元銀行だった建物をパブやレストランに改造したものが多い。シティーだから銀行が多いのは当然だが、銀行が移動した後を建物を壊さずにパブに改造するのはそのままその建物の歴史を踏襲することになり、さすがにイギリスだと思わせる。

◆バンクからフリート・ストリートへ

この日はパブ13軒を回る予定、のんびりしている時間はなく次から次へとパブを訪れる。1652年にロンドン初のコーヒーハウスとして創業後、奴隷とラム酒の情報拠点になった③Jamaican House で軽く一杯ひっかけ次のパブへ。元ロードメイヤーの公邸だった④Williamson's Tavernと



坂次氏（左）の説明を聞く参加者たち（Punch Tavernで）（撮影：加藤節雄）

1666年ロンドン大火後に初めて建てられた⑤Ye Olde Watlingでは、建物の外で坂次さんの軽妙な解説を聞いて、次の⑥Punch Tavernへ。ここはすでにセント・ポール寺院を通り過ぎてフリート・ストリートだ。

Punch Tavernは1662年に始まった「パンチ&ジュデイー・ショー」に由来する。その後19世紀に出版された漫画雑誌「パンチ」の編集者がこのパブでよく飲んだので有名になった。ここでまた一杯。

この辺にも歴史豊かなパブが建ち並んでいる。先ずジンの蒸留所だった⑦City of London Distillery、ウエディング・ケーキの由来のある⑧The Old Bell Tavern、ロンドンに最初にできたアイリッシュ・パブの⑨Tipperary、ニュートンの隠れ家だったと言われる⑩The Deveraux、波乱万丈の人生を送った作家エドガー・ウォレスが常連だった⑪Edgar Wallaceと、フリート・ストリートをストランドの方へ向かいながら、この周辺のパブを見て回る。

（2面へ続く）

◆歴史パブ13軒を踏破

次に立ち寄ったのは王立裁判所の隣りにある⑫The Old Bank of England。ここは文字通り昔大英銀行の支店だったところだ。銀行というのはどこも天井の高い立派な建物にあったのだと感心させられる。この辺になると参加者もやや疲れ気味、よく歩いたので喉も乾いている。そこでこのパブで座って一杯、幸いにも全員が集まれる個室が空いていた。

もう一軒あるので頑張ろうということでフリート・ストリートを再びセント・ポール寺院方面に向かって本日最後のパブ⑬Ye Old Cheshire Cheeseへ。すでに9時を回っている。ここでパブ巡りは無事終了、駆け足ツアーだったが、シティーのパブの歴史の深さ、話題の豊かさを満喫するツアーとなった。

現在イギリスの伝統的なパブは苦境にさらされている。スマートなワインバーやカフェバーがお客を奪っていること、スーパーでアルコールの安売りをするので、パブに出かけるよりも自宅や友人宅で飲む人が増えたこと等が理由

だが、イギリス人がお酒を飲まなくなったことも原因の一つのようだ。

しかし、シティーを歩く限りパブの伝統はしっかりと守られている。どのパブも満員だし、古い歴史を感じさせるインテリアは重厚とも言える。参加者の中には「今度は一軒一軒ゆっくり回ってみたい」と思った人が多かったパブ・クロール（はしご酒）ではあった。



Ye Olde Watling で (小林俊晴さん撮影)

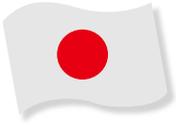
写真探訪 Around London



【Regent's Canal】

観光客で賑わうロンドンのカムデン・タウンを1本の運河が走っている。この運河はロンドンとバーミンガムを結ぶグランド・ユニオン・カナルの支流で、メイダ・ベールのリトル・ベニスからリージェント・パーク、ロンドン動物園、カムデンを通り、ロンドン北部を抜けてドックランドでテムズ川とつながる全長14キロメートルのリージェント・カナルだ。1820年にリージェント・パークやリージェント・ストリートの建設とともに掘削され、産業革命の大動脈として活躍したが、鉄道や道路の発達で物資の輸送手段としての役割は終焉し、荒れ果ててしまった。ところが、第2次大戦後1970年代になってレジャー施設として復活、ナローボートと呼ばれる幅の細いボートで旅をしたり、当時はまだエンジンがなかったためボートを馬がけん引したが、そのために作られたトープス（けん引道）を運河に沿って散策したり、サイクリングしたりと、道路の喧騒を離れて静寂を楽しむことが出来る。

(撮影：加藤節雄)



領事便り

在英国日本国大使館領事 田邊邦彦



よくある大使館領事班への質問（その3）

大使館領事班業務で、在留邦人の皆様から多く質問される事柄に関するQ & A形式のご案内は、今回は最後となります。

Q1 戸籍謄本(抄)本は、大使館で受け取れますか。

(答) 戸籍は日本の市区町村役場で管理されているため、大使館では作成も取り寄せもできません。戸籍謄(抄)本の取り寄せは、日本のご家族に依頼されるか、直接本籍地役場にご連絡の上、郵送請求につきお問い合わせください。

Q2 英国で子供が生まれたのですが、出生届に届出期限はありますか。

(答) 出生の日を含めて3か月以内に出生届を届出なければなりません。お子様が出生によって日本国籍の他に外国国籍も取得している場合は、この届出期限を過ぎると日本国籍を喪失しますので、十分に注意してください。(例：1月10日出生 → 届出期限日4月9日)

Q3 ロンドンから遠方に在住しています。婚姻届、出生届を郵送で届出することはできますか。

(答) 婚姻届、出生届などの一部届出は郵送でも受付けています。郵送での届出の場合は、来館による届出の場合と必要書類が若干異なる場合もありますので、詳しくは当館ホームページをご覧ください。なお、出生届を郵送で届出される場合は、必ず届出期限内(上記Q2の(答)参照)に当館に届出書が到着するよう、ご注意ください。

Q4 英国で婚姻したのですが、日本側にも届出する必要がありますか。

(答) 外国の法律に基づいて婚姻が成立した場合は、婚姻成立の日から3か月以内に日本側(在外公館又は本籍地役場)に届出する必要があります。

Q5 英国人と英国で婚姻しましたが、英国人の姓に変更することは可能ですか。

(答) 外国人との婚姻により日本人の姓は変わりませんが、希望する場合には、婚姻成立の日から6か月以内に限り、「外国人との婚姻による氏の変更届」を届出ることによって、外国人配偶者の姓に変更することができます。但し、6か月を過ぎた場合には、日本の家庭裁判所の許可が必要となります。

Q6 英国人父と日本人母の間に英国で生まれたので、出生により英国と日本の二重国籍者です。国籍選択は何歳までにする必要がありますか。

(答) 出生により外国国籍と日本国籍を有する方(重国籍者)は、22歳までにいずれかの国籍を選択する必要があります。日本国籍を選択する場合は「国籍選択届」を、外国国籍を選択する場合は「国籍離脱届」を届出ください。

◆当館ホームページ:

<http://www.uk.emb-japan.go.jp/jp/>

◆電話: 020-7465-6565

■在外選挙人登録はお早めに!

本年夏には参議院議員通常選挙が実施されます。海外で国政選挙に投票するためには、在外選挙人登録を行い、在外選挙人証を所持する必要がありますが、在外選挙人証の受領には、通常、申請から2～3ヶ月を要しますので、今夏の選挙に備え、この機会に申請をお願いします。なお、日本国内に住民登録が残っている方(市区町村役場に転出届を提出していない方)は、日本国内の選挙人名簿に登録されたままになるため在外選挙人登録は出来ません。詳細は当館HPをご確認ください。

<http://www.uk.emb-japan.go.jp/jp/ryoji/senkyo.html>

短 信

COMMUNITY PLAZA



今年も東日本大震災 5 周年

グリーンコーラス演奏会

東日本大震災後毎年 3 月に記念追悼演奏会を開いている日本クラブ女声合唱団グリーンコーラスが震災 5 周年のメモリアル・ランチタイム・コンサートを開催する。指揮者は高塚翠華（すいか）氏、伴奏は関屋紀子氏で、福島の民謡や子守唄を始め、日本の四季の歌とともに英国初演となる「メッセージ」という曲を披露する。震災で命を落とした方たちからの「メッセージ」を旋律にのせた合唱曲で、すでに被災地では演奏され、広く感動を呼んでいる。この曲を作詞作曲したのは小田ユリさんと、昨年渡英し、現在はグリーンコーラスの一員として一緒に歌っている。（写真①）

3 月 9 日（水）1:15pm
St. Dunstan in the West Church
186A Fleet Street, London EC4A 2HR
地下鉄：Chancery Lane / Temple
入場無料：ドネーション歓迎
sachiko@teranaka.net（寺中）

平井元喜リサイタル

前号の「びつぐべん」でも紹介した英ピアニスト平井元喜さんがロンドンのバービカンで震災 5 周年チャリティーコンサートを開催する。平井さ

んは震災後、英国を始めヨーロッパ、日本ですでに 30 回以上チャリティーコンサートが続いている。今回は本人が作曲した「～祈り、そして希望」や百人一首に触発された音詩（音の和歌）も演奏する。（写真②）
3 月 3（木）7:30pm
Barbican Milton Court Concert Hall
Silk Street, London EC2Y 8DS
入場料：£25, £15, £10
www.barbican.org.com

『架け橋プロジェクト』メモリアルコンサート

震災後東北各地を訪れてコンサートを開いている在英歌手の鈴木ナオミさんが、被災地の子供たちの日本舞踊の会「福島里の子会」の英国訪問を機に、メモリアルコンサートを開く。出演は里の子会、鈴木ナオミを始め、在英の音楽家廣田文自、一川響、ダイアナ湯川等多数で、舞台にスクリーンを設置して福島の人々に登場してもらったり、ドキュメンタリー映画「オハイエ 2」を上映したりする。（写真③鈴木ナオミ、写真④里の子会）
日時：3 月 14 日（月）7:00pm
会場：Islington Assembly Hall
Upper Street, London N1 2UD
地下鉄：Highbury & Islington（5 分）
入場無料：主催者は会場設備費用のた

めの寄付を募集しています。
寄付及びコンサートの問い合わせ：
Email : naomi@sweet-naomi.com
TEL : 07796-144338（鈴木ナオミ）

日英音楽協会定期コンサート

日英音楽協会（ジョナサン・グレゴリー指揮・音楽監督）の春の定期コンサートが行われる。今年はバッハの「マタイ受難曲」に挑戦する。この曲はバッハの真の傑作と言われる作品で、主催者はこの受難曲を東日本大震災をはじめ、世界中のあらゆる自然災害、人的災害、戦争・紛争、テロ事件の犠牲者に捧げたいとしている。（写真⑤）
日時：3 月 20 日（日）6:30pm
会場：Hampstead Garden Suburb
Free Church : Central Square
Hampstead Garden Suburb
London NW11 7AG
交通：地下鉄 Golders Green
付近の路上駐車可能
入場無料：ドネーション歓迎
※日英音楽協会は 1991 年に全英規模で開催されたジャパン・フェスティバルの際に音楽を通して日英交流を図る目的で創設された。以後毎年プロのソリストや歌手を招待して春の定期コンサートやクリスマスコンサートを積極的に開催している。今年は創設 25 周年を迎える。
www.ukjapanmusicsociety.org

短 信

COMMUNITY PLAZA



ビジネス日本語スピーチコンテスト 今年の優勝者はJ.キングさん

今年第26回目になるビジネス日本語スピーチコンテスト（SOAS/JETRO 共催）が2月12日（金）ロンドン大学SOASのブルネイ講堂で開催された。この日は応募者の中から書類や電話インタビューで選ばれたファイナリスト8人が審査員及び聴衆の前で10分間のスピーチをし、その後インタロキ्यूター（質問者）からスピーチの内容に関する質問を受けた。審査（浅利秀樹審査委員長）では日本語の能力ばかりでなく、ビジネスに関するスピーチの内容、質問者との質疑応答も重要な要素となる。ファイナリストはいずれも日本語の達人な人たちばかりで、審査員は優勝者を決めるのに苦労したが、結果は「Nature and Nurture（氏と育ち）」というタイトルで「成功するビジネスマンとは」に関して話したジョナサン・キングさん（三井住友信託銀行勤務）が優勝し、カップや日本行きの日復航空券を獲得した。（写真⑥）

植田リサ・コンサート

在英のバイオリニスト植田リサさんが弦楽器のアナーン・トリオとロンドンでコンサートを開く。トリオはバイオリンの植田リサ、ピオラのイアン・バイン・ブリット、チェロのナイジェル・

プロミリーの3人で、今回はベートーベン「セレナード Op.8」、レジャー・ストリング・トリオ Nr.10p.77b等を演奏する。植田リサは昨年ウイグモアホール・デビューを果たし、ピアノのダニエラ・リナルドとデュオを組んで日本各地でコンサートを開いたばかりだ。（写真⑦）アナーン・トリオ

● Anern Trio Concert
日時：3月17日（木）1:15pm
会場：St Pancras Church:
Euston Road, London NW1 7AG
地下鉄：Euston 駅前
入場無料：ドネーション歓迎
www.stpancraschurch.org

ユニークなインスタレーション

ハムステッド・ヒースやリージェント・パーク等、ロンドン各地の公園や空き地から土を集め、それぞれを約100個の三角形の特別な花壇に入れ、水と光を与え、何が生えてくるかというユニークなインスタレーション・アートがテートモダン・ギャラリーで展示されている。アーティストはメキシコ人のアブラム・クルスヴィレガス氏で、リサイクルの材料を使った彫刻で有名な作家である。昨年の10月に始まったこのインスタレーションは最初単なる土だったが、今ではいろいろな雑草や木の苗が生えてきている。作家は自

然の持つ力と意外性を示したかったという。テートモダンには日本クラブにも近く、クラブへ行くついでに寄ってみるのも楽しい。（写真⑧）

● Empty Lot by Abraham Cruzvillegas
Tate Modern Gallery Turbine Hall
Bankside, London SE1 9TG
4月3日（日）まで
入場無料

ガーデン絵画展

モネからマチスまで、いろいろな画家が庭園の絵を描いているが、主に1860年代から1920年代までの印象派、後期印象派、アバンギャルド作家等による庭園の絵画120点を集め、庭園が画家にとっていかに大事なサブジェクトだったかを検証する展覧会が開かれている。庭園を描いた画家としてはモネが良く知られているが、あまり知られていないポール・クリューやグスタフ・クリムト、カンデンスキーの描いた庭園も展示されている。（写真⑨）モネのガーデン

● Painting the Modern Garden
Royal Academy of Art
Burlington House, Piccadilly
London W1J 0BD
入場料：£17.60（Gift Aid 含む）
4月20日（水）まで
www.royalacademy.org.uk

日本クラブ診療サービスの拡充 平日 7 時、土曜 5 時まで、日曜も診療

前号の「びっぐべん」でもお知らせしたとおり、日本クラブでは3月で南診療所を閉鎖し、4月より北診療所に統合して診療を続けることになった。

日本クラブ診療所は1964年に会員の医療及び健康管理のため日本人医師の常駐する診療所をロンドン北部で始めたが、1976年にはロンドン南部にも居住する会員が増えたため南にも診療所を開設、それ以来常駐医師3人による南北2つの診療所体制を続けてきた。

然るにここ10年来、日本クラブ会員数の減少傾向が顕著となり、特にロンドン南部に住む会員数が過去10年間で約50%も減少、そのため3月で40年間続いた南診療所を閉鎖し、4月より北診療所に統合、医師3人体制はそのまま維持することにより、北診療所の診療体制を拡充することになった。

◆南診療所の最終診療日：3月24日(木)

◆北診療所の診療時間延長：4月11日(月)より

■北診療所の診療時間の延長

日本クラブでは北診療所でこれまでの南診療所の患者をカバーし、その上、会員に提供する医療サービスの向上を図るため、医師3人体制を維持することを決め、北診療所での診療体制を拡充することになった。特に平日夕刻と週末診療の時間を延長することにより、会員へのサービス向上を目指す。

日本クラブ診療所診療時間 (4月11日より)

月曜日～金曜日：09:00～19:00 (現行17:00まで)

土曜日：09:00～17:00 (現行13:00まで)

日曜日：09:30～12:30 (日曜日も診療)

※年末年始・イースター期間・祝日は休診

※要予約

Hospital of St John and St Elizabeth
1st Floor, Brampton House
60 Grove End Road, St. John's Wood
London NW8 9NH (地下鉄：St. John's Wood1分)
TEL：020-7266-1121, www.nipponclub.co.uk/clinic

■充実した医師陣



◆宮川 佳也 (みやかわ よしなり) 医師

担当：一般診察、内科

日本内科学会認定医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会指導医、日本消化管学会認定医

(早期胃癌、大腸ポリープなどをはじめとする胃腸疾患が専門)



◆大谷 圭 (おおたに けい) 医師

担当：一般診察、内科

日本内科学科総合内科専門医・認定医、日本救急医学会専門医、日本消化器病学会専門医、日本肝臓学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、認定産業医

(救命救急の経験が豊富なので、救命に必用な重症から慢性疾患にいたるまでの様々な診察・治療を行える)



◆高木 健 (たかぎ けん) 医師

担当：一般診察、小児科

日本小児科学会専門医
(専門は小児循環器。特に心筋症の研究に従事してきた)

■その他の専門医



◆赤沼 のぞみ (あかぬま のぞみ) 医師

担当：精神科専門外来

精神科コンサルタント(South London & Maudsley NHS Foundation Trust)、臨床神経科学部門客員上級講師(King's College London)、精神保健指定医(日本)、日本てんかん学会認定医、日本てんかん学会認定指導医、英国精神科専門医(一般成人精神医学)、精神保健法認定医(英国)



◆Mrs Delphine Sekri

(デルフィン・セクリ) 医師

担当：婦人科検診

産婦人科医

(パリの医科大学を卒業。2005年に渡英、ロンドン市内のNHSと私立病院に勤務)



コミュニケーション事始め

コミュニケーションの始まりは挨拶です。それはまず自分の方から、相手に敵意がないこと、信頼していることを表すことです。

イギリスの学校を訪問すると、様々な言語で“Welcome”と入口の掲示板に表示してあるのが目に留まります。「ようこそ」「歓迎」などは、日本人や中国人生徒向けに書かれたのでしょうか。この言葉による受け入れの気持ちの表明よりも、さらにわかりやすいのは、動作による表現ではないでしょうか。

握手する本来の意味は、手のひらを開き、武器を持っていないことを示すことでした。また、お辞儀をするのは、頭をたれ、相手が刀を持っていれば首を取られるところを、相手を信用している証でした。相手が自分より上位の人であればあるほど、お辞儀の角度も深くなるということです。ハグはより緊密な行為ですので、それだけ相手と親しいことを表します。

夏のある日、エレベーターに乗っていると、止まった階でさらに人が乗って来て、体が触れるほど非常に混んだ状態になりました。日本のラッシュに慣れていた私は、「日本並みの混雑だなあ」と思っただけでしたが、イギリスのご婦人は明らかに他人と距離が近過ぎると思ったのか、その少々不快に感じる状況を、“We are friendly”とうまく表現してかわしていました。心的な距離と物理的

な距離は比例するものなのでしょう。

きな臭い出来事が毎日のように地球上で起こっている昨今では、自分の方から信頼を表すのが難しい状況です。しかしそれにより助けられることもあります。

日本の青年がイギリスのクラブに行って、一服しようと外に出た時、そこにいた人に「一本どう」とたばこを差し出しました。その人は、ゆっくりと吸い終わると、「これ」と言って携帯を差し出しました。よく見れば、それはその日本人青年の携帯だったのです。混雑に紛れて掏ったものを、相手がそうと気づかずに親切を示したので、悪いことをしたと思い、返してくれたのでしょう。相手を対等に扱う行為が、犯罪を防止したのです。まさに「親切は身を助く」です。このような行為はいわゆる「ハチドリ一滴（ひとしずく）」かもしれませんが、無料の、壮大な生命保険に入っているようなものといえましょう。

現在生きている人類は、過去の膨大な歴史の淘汰の中で、社交的だった人達の末裔という説があります。自分の属する集団が危機に瀕した時に、他の集団と武力で争うのではなく、交渉できた人達が生き残れたというのです。ただ、新しい集団が混じる際に、その適正な割合があるともいわれ、イギリスの大学では外国人留学生の割合を抑えているそうです。人々が様々な理由で地球上を移動する時代、コミュニケーションの基礎を大切に、歴史学、社会学、人類学などの知識も総動員して、より良い解決策を探っていきたいものです。

* * *

2016年広報委員会委員

委員長：

森 太(読売新聞)

委員：

吉廣朋子(日本大使館広報文化センター)

田邊邦彦(日本大使館領事)

筒井裕子(日本郵船)

山崎有浩(日本航空)

加藤節雄(Kato Media・

「びっぐべん」編集長)

笹川真理子(英国文化センター)

ナイト恵(英国日本婦人会)

広報委員会の主な任務は隔月発行の日本クラブ広報誌「びっぐべん」の編集、日本クラブホームページの運営、その他一般的なクラブの広報・宣伝活動です。委員長及び委員の人数は毎年交代します。

「びっぐべん」は会員のための会報です。日本クラブの活動報告だけでなく、会員の皆様の英国生活の役に立つ記事を掲載しています。ご意見、ご提案をお寄せ下さい。

2016年3月帰任の先生

ロンドン日本人学校

広川 隆一	校長	北海道
石本 兆司	教諭	埼玉県
曾根 庄	教諭	千葉県
鈴木 聡子	教諭	神奈川県
佐藤 直己	教諭	長野県
西村 香	教諭	京都府
青山 香代	教諭	兵庫県
森田 郁子	教諭	兵庫県
成田 茂規	教諭	福岡県

ロンドン補習授業校

佐藤 隆司	教諭	北海道
-------	----	-----

メールアドレスの登録を！

日本クラブでは「びっぐべん」「診療所だより」その他各種ご案内や 会員の特典等の情報をメールで配信していますので、メールアドレス登録が必須です。登録は会員であれば家族も含めて誰でも無料で登録できます。

www.nipponclub.co.uk

新規加入の法人会員

- ◆全農インターナショナル欧州
Zennoh International Europe
- ◆スミトモ・ミツイ・トラスト (UK)
Sumitomo Mitsui Trust (UK)

日本クラブ・ゴルフ同好会

- ◆月例会：開催中
- ◆会 場：Maidenhead Golf Club
- ◆問い合わせ：☎ 07810-545023 (西川)
charles.nishikawa@btinternet.com
随時入会受付中 (申し込みは HP から)

日本クラブ・ブリッジ会

- ◆例 会：毎週木曜日 (11:30am 開始)
- ◆会 場：ヤングチェルシー・ブリッジクラブ
(<http://ycbc.co.uk/>)
- ◆問い合わせ：reikoe@btinternet.com (榎枝)
見学者歓迎

日本クラブ・グリーンコーラス

- ◆練習日：毎週月曜日 (10:15 ~ 12:30)
- ◆会 場：Trinity Church, Golders Green
- ◆問い合わせ：sachiko@teranaka.net
(寺中佐知子)

日本クラブ囲碁会

- ◆例 会：毎週土曜日 (14:00 ~ 20:00)
- ◆会 場：Inn of Court Pub
地下鉄 Chancery Lane Exit 3 より直進 2 分
- ◆問い合わせ：☎ 07956-594040 (田中)
tanaka@gokichi.org.uk

クラブサロンのご利用を！

日本クラブのクラブサロンはロンドン中心部セント・ポール大寺院のテムズ川対岸のサザックにあります。ラウンジや会議室、ソフトドリンク、JSTV 等のサービス施設があります。テムズ川南岸のこの地区は再開発が進むエリアで、テートモダン・ギャラリーを始め、数々のショップやレストランが並んでいます。地下鉄ジュビリー線のサザック駅から徒歩 5 分、ロンドン・ブリッジ駅からは 10 分の便利な距離にあります。会員であれば誰でもご利用になれます。



地図はホームページ (www.nipponclub.co.uk) の「日本クラブご案内図はこちら」を参照してください。

- *建物入口のレセプションで、日本クラブへ行くと教えてください。(会員証の提示を求められることもあります)
- *閉館時間以外はシャッターが降りていて入場出来ません。

● Nippon Club

Ground floor, Europoint Centre
5-11 Lavington Street
Southwark, London SE1 0NZ

TEL : 020-7921-9490, Email : jimukyoku@nipponclub.co.uk
月曜～金曜：午前 10 ～ 午後 9 時 (事務局は午後 6 時まで)
土曜：午前 10 時～午後 4 時 (事務局は休日)
日曜・祭日は原則休館

ロンドン日本人学校

ロンドンにある特性を生かしつつ、学習指導要領に準じた教育を実践しています

- 運動会・文化祭などの行事
- きめ細かな進路指導・進路講演会
- 英語検定や漢字検定の実施
- 放課後の楽しい部活動 (5 年生以上)
- 整った学習環境
- 英会話や英語活動
- 現地校との交流
- 通学バス利用可

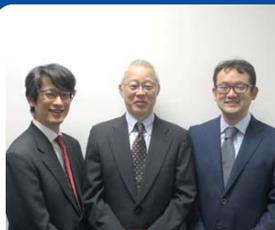


入学・転入学随時受付 TEL: 020-8993-7145

ロンドン補習授業校

英国の現地校等に通学している子ども達が、国語 (日本語) の勉強をする「サタデースクール」です

- 毎週土曜日午前中授業
- 校舎はアクトン、プレント、クロイドンの 3 校舎
- 小・中・学部・高等部 (学習指導要領に準じたカリキュラム)
- 日本語科 (日本語を第 2 母国語とし、日本語の習得を望む児童生徒対象に 7 クラス設置)
- 授業回数年間約 40 回



旅行保険で
キャッシュレス

●日本クラブ 東京慈恵会医科大学からの派遣医師が常勤。 在英日本企業 300 社以上がサポート。

NIPPON CLUB メディカルクリニック

当診療所は、ロンドンでも最新設備を誇るプライベート病院の Hospital of St. John and St. Elizabeth (北診療所) と Parkside Hospital (南診療所) 内にあり、緊密な提携関係のもと同病院施設の利用・入院手続き等ができる上、必要があれば同病院をはじめ英国の専門医をご紹介します。

- 東京慈恵会医科大学海外派遣機関
- 各種旅行傷害保険取扱
- 海外派遣員医療保険取扱
- 健康診断随時実施
- 婦人科検診随時実施



内科
小児科
一般診療

www.nipponclub.co.uk/clinic

北診療所 020-7266-1121

南診療所 020-8971-8008 (3 月 24 日まで)